

○令和5年度 国立大雪青少年交流の家教育事業

「夏休みチャレンジキャンプ～作って食べて遊んで！夏を乗り切ろう！～」(R5.8.1～8.4 3泊4日)

令和5年度 国立大雪青少年交流の家 教育事業

いろんなことにチャレンジしよう！ 夏休み やってみよう！

夏休みチャレンジキャンプ

作って食べて遊んで！夏を乗り切ろう！

8月1日(火)～4日(金) 3泊4日

■主な活動内容
食事作り
スポーツレクリエーション
農業体験
キャンプファイヤー
クラフト などなど

対象 美瑛町・東神楽町・東川町・上富良野町の小学4～6年生

費用 無料

場所 国立大雪青少年交流の家

定員 30名

■送迎バスがあります
発着場所や時間についての詳細は、参加決定通知でお知らせします。

■申込申込フォームはこちら
7/17(月) 必切

【問合せ先】
国立大雪青少年交流の家 (担当：佐藤 (南)、花岡、和泉)
〒071-0235 北海道上川郡美瑛町白金温泉
TEL: 0166-94-3121 FAX: 0166-94-3223
E-mail: taitsoku-shuichin@nnye.go.jp

◆目的

生活習慣が乱れがちな長期休業中に、規則正しい生活の大切さを体感するとともに、生きる力を身につけ、実践していきこうとする気持ちを養う機会とする。

◆参加実績 16名

【小学校4～6年生対象】

【内訳】

小学校4年生 6名

小学校5年生 6名

小学校6年生 4名

◆プログラム

○食事作り【講師：調理師 横山 美香 氏】

レシピは、参加した児童が事業終了後、家庭で一人で安心、安全に食事づくりができることをコンセプトとし、調理師の資格をもった講師にレシピ開発を依頼し、最終日にレシピブックを配布した。

○スポーツレクリエーション

チーム対抗でポッチャ大会を行った。初めてポッチャに挑戦する参加者が多かったが、ルールやコツを教えあったり、チームで協力したりし、勝敗にこだわらずに楽しむ姿が見られた。

○農業体験【講師：本山農場 本山 忠寛 氏】

美瑛町内の本山農場に訪問し、トマト栽培に係る作業を体験した。また、農作業の他、本山農場の本山氏から、農家の仕事や野菜を育てる上で大切にしていること等のお話を伺った。

○キャンプファイヤー

火を囲んで、キャンプを振り返ったり、テーマソングを歌ったりして、最終日に向けてさらに交流を深めた。

○クラフト

木の輪切りやプラ板でキーホルダー作りを行った。今回のキャンプの参加者やスタッフの名前や思い出を描いたり、家



族へのプレゼントとして制作したりする姿が見られた。

◆事業運営・企画のポイント

- 生活習慣が乱れがちな長期休業中に、規則正しい生活の大切さを体感し、事業終了後も生活リズムを整えることや食べることを中心に、様々な体験に挑戦することを学ぶ機会とした。
- 調理、スポーツ、自然体験、クラフト活動など、様々な「体験」を取り入れ、一人ひとりが興味関心をもって活動に取り組んだり、仲間と協力しながら苦手な活動を楽しんだりすることができるプログラム構成とした。

◆参加者の声

- 来年も参加したいけど中学生になる。次はボランティアのような立場で参加してみたい。
- いつもお母さんに作ってもらっていたけど初めて作ってとても大変だった。そしてお母さんがすごいと思った。
- 1日目ドキドキ、ワクワク、緊張したけれど、4日目にはもういろいろな人としゃべれた。
- 出来なかったことを助けてもらってうれしかった。
- 次に来る時は、5・6年生として後輩の手伝いをしたい。

◆事業の成果

- 生活リズムを整えることの大切さ、食の大切さ、苦手なことにもチャレンジすることの大切さなどを3泊4日の様々な活動をとおして参加者に伝えることができた。
- 特別支援学校の勤務経験がある職員を中心に、子どもたちの体調面や精神面のケアを行いフォローできたことで、子どもたちの安心にもつながり、大きなトラブルや体調不良等もなく過ごすことができた。

